

みんなの県政

1971/11

NO.35 富山



特集

ローカル線

富山県の交通の現況と問題点



特集 地方軌道の現況と問題点

いままで私たちの身近な足として親しまれてきたローカル鉄道が、しだいに廃線のうきめにあっている。モータリゼーションや過疎のあおりをまともにうけた現在、現状をみきわめ、どう対処したらいいのかを考えよう。



・11月に咲く花
オキザリス
(カタバミ科)



〈表紙説明〉

福岡の野菜(つくりもの)

伝統300年のこの祭りは、毎年9月23日になると地藏まつりにあわせて催される。

五穀豊穡を感謝して、野菜・くだもの・自然の草花を利用して、昔の物語の一幕や、その年の世相を反映させた作品などが、町内三十数戸の軒先に作られる。表紙のつくりものは故松村謙三氏をしのんでつくられたもの。

このような素材でユーモラスな人情味あふれる庶民の芸術を見ようと、町内近辺はもとより遠くから集まるたくさんの人びとの波は出品してある家から家へと、夕暮近くから夜ふけまでつづく。

加越線の廃止問題をはじめとして、地方鉄道の笹津線・射水線・富山市内軌道線の一部廃止など、県内の鉄道を中心に県民の足を確保するための交通問題が、各方面で大きな議論の対象となつています。

政府も、大都市の交通確保や国鉄ローカル線の赤字対策、中小私鉄の存廃問題などに対処するため、運輸政策審議会の答申をもとにして具体的施策の樹立のため、各省庁間の連

1 輸送機関別にみた輸送人員の推移

本県の輸送機関の利用状況を昭和四十四年の実績からみますと、全県民の七四〇人に当たる七六万五千人が何らかの交通機関を一日一回利用したことになります。一人で何回も利用する人もあれば、片道だけという人もありますが、大体において往復一回という計算をすれば、実数で約三十八万人と考えることができます。この数字は、昭和四〇年以來わずかに増加していますが、ほとんど変化はありません。(表一を参照)

交通機関全体の延利用客数に変化がないのに、鉄軌道が赤字でその存立が問題になってくる根本原因は、自家用車の激増のためです。(表二参照)。本県のすべての輸送手段のうち、乗用車が分担していた輸送実数(一年間の自家用車運行数)は、昭和四〇年で一一億二千万台と、昭和四十四年には二億八千万台と、

二・七七倍に激増しているのです。この数字は、人員になおすと延べ五千万人が乗用車に移行したことになります。

反面、バスでは二千万人、国鉄では九百万人、私鉄では六百万人の減となり、一千四百万人が乗用車の普及による純増となります。全国的にみると、減少しているのは国鉄だけです。このことも乗用車の伸びに原因があるといえます。

二・七七倍に激増しているのです。この数字は、人員になおすと延べ五千万人が乗用車に移行したことになります。

反面、バスでは二千万人、国鉄では九百万人、私鉄では六百万人の減となり、一千四百万人が乗用車の普及による純増となります。全国的にみると、減少しているのは国鉄だけです。このことも乗用車の伸びに原因があるといえます。

(表2) 自動車保有台数の推移

区分	保有台数	指数	1台当り人口数	1台当り世帯数
40年	70,046台	100	14.6人	3.3世帯
45年	180,310台	257	5.7人	1.4世帯

2 自動車の普及状況

本県の自動車の普及状況は表2でもわかるように、昭和四十年の二・五七倍を四十四年で示しています。四十六年六月末ですでに二億八千万台と、〇年の三・一倍になつて

(表1) 輸送機関別旅客輸送人員の推移

(単位 富山県 千人 全国 百万人)

区分	年	バス			乗用車			国鉄			私鉄			定期航空			計		
		人員	指数	分担率	人員	指数	分担率	人員	指数	分担率	人員	指数	分担率	人員	指数	分担率	人員	指数	分担率
富山県	40年	116,273	100	44.1	29,135	100	11.0	48,754	100	18.5	69,568	100	26.4	28	100	0	263,758	100	100
	44年	95,042	82	34.0	80,790	277	28.9	39,886	82	14.3	63,630	91	22.8	35	128	0	279,383	106	100
全国	40年	10,557	100	34.4	4,306	100	14.1	6,722	100	21.9	9,076	100	29.6	5	100	0	30,666	100	100
	44年	11,674	111	30.9	10,111	235	26.7	6,541	97	17.3	9,509	105	25.1	12	235	0	37,847	123	100

3 道路の改良

自動車の普及は、各メーカーが大衆車と銘うって量産し、比較的容易に購入できるようになったことに起因しましょう。もちろん、これには高速道路などの一連の道路改良が鋭意すすめられたこともあります。

県の道路状況も、昭和四十年の改良率二・三・六、舗装率九・四、四、昭和四十四年の改良率三・五・三、舗装率二〇・五、へと順調な推移をたどっています。

4 鉄道の旅客数の推移

自動車に旅客を奪われ、斜陽的存在となつた鉄道について、各線ごとの利用概況をみると(表3参照)、最も激減しているのは高山本線の五三〇減です。これは中京方面への利用客が北陸本線の複線電化により、米原経由へと転換したこともありましょう。しかし、五年間で半分以下になったことは、富山と中京を結ぶ大動脈とはいえず、今後の国鉄ローカル線の存廃問題とからんでクローズアップされてくるものと予想されます。国鉄線では、この他に城端線も半分に近い四八〇減となつており、この対策をどうするか今後の問題



となりましょう。城端線の利用形態は、単に過疎化現象によるものではなく、モータリゼーションの進展などによる一種の構造的変化を起しているといえます。このような変化は先にもふれましたが、全県的に発生している現象であり、今後の県の交通政策を検討する際、交通規制ともからんで最も重要な点です。

私鉄では、営業上採算のとれる路線は、乗車密度が六千五百人以上ある場合とされています。(乗車密度=輸送人員×営業キロ)県内私鉄線のうちで、六千五百人以上の路線は地鉄本線一本で七千九百人です。

廃止問題の笹津線は三千八百人、射水線は三千人、加越線は二千五百人です。政府の方針も、六千五百人以下の路線についてはバス



海は牧場 育てる漁業へ

転換を基本としています。
なぜ、鉄道は不採算で、バスなら可能かという問題があります。鉄道はレールの上を走るので安定性と定時性においてバスにない大きな利点をもっています。ところが、この有利な点がまた、鉄道として経営的に最大の欠点でもあります。路線を維持するための固定経費（保線費）や、安全運転のため交換駅・主要駅に駅員を配置する必要があります。この駅務費が鉄道を赤字にする最大の原因となっています。

バスにはこの経費は不要で、加越線では年間の固定経費は約四千四百万円、笹津線では約五千八百万円、射水線では約七千万円となっています。バスに転換すればこの経費がいらなくなり、経営上の大きなプラスになります。

5 バス路線の概要

バスの利用客数（表2）は、昭和四十年の一億一千六百万人が、昭和四十四年には九千五百万人と、二千万人もの減少をきたしています。一方、運行路線数は、昭和四十年の五一四路線（うち赤字路線二七四本）が、昭和四十四年には五八八路線（うち赤字路線三一六本）と、六三路線の増（うち赤字路線増四七本）となっています。

バス路線が休廃止となると、公共輸送手段として最後のものがなくなり、地域住民にとっては生活の基盤までが崩されることとなります。地方公共団体としては、住民の生活にかかわるバス路線の廃止については、鉄道の廃止問題とは異なった観点から対処してゆか

(3) 鉄軌道利用状況の推移

区分	路線名	40年	45年	指数 40=100
国	北陸本線	27,100	23,197	86
	域端線	7,417	3,875	52
	氷見線	5,708	3,467	61
	富山港線	5,092	3,315	65
	高山本線	3,436	1,617	47
	神岡線	—	194	47
	計	48,754	35,665	73
地	本線	18,682	18,025	96
	立山線	6,726	3,245	48
	黒部線	4,885	—	—
	上滝線	—	2,769	82
	不二越線	—	3,097	102
	笹津線	3,777	2,743	73
	射水線	6,448	3,019	47
	加越能	3,266	2,750	84
	軌道	25,784	23,627	92
計	69,568	59,275	85	
合計	118,322	94,940	80	

6 今後の問題点

モータリゼーションの進展、道路網の整備充実などは、今後一段と鉄軌道利用者の減少

- なければなりません。過疎地域をささえるバス路線に対しては、従来からも国や県から補助を出して運行の確保につとめてきました。しかし、補助基準がきつくと、経営者は補助を返上しても路線を廃止したいと要望しています。国でも現行の補助制度では過疎バス路線の維持は困難と考えており、近く抜本的な改正に踏み切る予定です。
- 県では、バス路線の維持のため、全県的にその実態を調査しており、生活基盤の維持のための生活路線の設置などをはかる予定です。
- ① 県内の大量高速輸送機関として、どのような範囲の鉄軌道を必要とするか。
 - ② 生活基盤確保のためのバス路線を、どう設定するか。
 - ③ 今後の公共交通機関は、バスが大宗を占めると思われるが、一般乗用車の激増による交通渋滞をどのように規制して、定時性を確保するか。
 - ④ 三〇分交通圏を形成するため、どのような交通網を設定するか。

海洋生物の生残状況

栽培漁業についてお話しする前に、カニ・エビ類、タコ・イカ類、貝類などを含めて、海産魚類再生産の一般についてお話ししましょう。

これらの魚類の産卵数は、少ないもので数千、多いもので数百万、通常は数万ないし数十万粒といわれています。このように多数の卵も、完全に受精するものはその六〇〜七〇％と推測されます。ふ化後、前期稚仔・後期稚魚・若令魚と成育していく過程での減耗もおびただしい数にのぼります。

前期稚仔期の短い期間には、運動能力が不十分で、多数の稚仔が密集して水塊と共に流されます。このため、水温・塩分・水の汚濁など環境の不適による死滅や、稚仔の食餌の不足による餓死、大型魚類などによる被害などによって、この時期にほとんどが死滅してしまいます。

無事にこの時期を過ぎて後期稚魚期になると、相当に活動能力が強まるので、生き残る割合は高まります。しかし、同じく前のよう

な理由で減少し、さらに成長した段階では、人間が漁業として獲るために、親魚に達するものはきわめて少なくなり、産卵に参加するまで生き残るものはせいぜい二〜三匹にすぎないのが通常とされています。

このことからみて、近年需要が増加している高級魚介類を減耗のきわめてはなはだしい前期稚仔期の時代に、人為的な保護を加えて漁業に充分利用できる程度の数（多くは数億から数十億程度は必要）を環境のよい海に分散放流すれば、需要に応じた計画的生産が可能だろうと考えられます。

栽培漁業と養殖漁業のちがいは

このように人工的に種苗（稚魚）を育成生産し、公共の海面の適所に放流して、自然の生産力によって資源の増大をはかり、成長したものを漁業者に漁獲させようとする形態を「栽培漁業」といっています。この場合、種苗は必ずしも人工的に生産したものに限りず天然に存在する稚魚を保護育成しながら、適所に配合放流することもこの事業の内です。これに対して、近年次第に増加している、「養殖漁業」はその事業の内容、目的がこと

なります。ある人が特定の海域について使用の権利を得て、そこで自己の魚を養い、生産を営むものをいいます。たとえば、水見市沖合では、ハマチの養殖をしていますが、海面の

一部を網で囲って、そこにハマチの稚魚を放して、日々投餌や網の保存などの管理をしながら育て、適時これを販売して利益を得ようという漁業経営です。

富山県の栽培漁業

本県も、この栽培漁業的な考え方で、すでに数種類の魚介類について試験的あるいは事業として試みてきました。その二、三の試験をみてみましょう。

古くからアワビの種苗放流試験が数回におたつて各地で行なわれ、現在も水産試験場の事業として継続されています。また、昭和の

これと違って、栽培漁業は、対象魚を公共の海面で自然の生産力によって育成させ、その漁獲は漁業者にゆだねるものです。漁業生産のための対象資源を人為的に増大すること

初期にすでに水見市沖合でタラの人工ふ化放流が試験されており、近年になってサザエ（水見市沖合）、コダマ貝・チョウセンハマグリ（富山市・水見市沖合）の稚貝の移植放流試験が行なわれているなど、種々の努力がはらわれております。いずれも放流種苗数の僅少・事前調査の不足などのため、まだ充分な

栽培漁業の問題点と見通し

栽培漁業では、本県における試験結果からも知られるように、種苗を放流すれば直ちにその資源が増加するというにはなりません。むしろ、あらかじめ放流する場所・方法・種苗の大きさ・放流適数などについて十分な調査研究をせずに放流した場合、それが全く無意味に終る事例がきわめて多いのです。

栽培漁業を行なうためには、放流する健全な種苗を必要数生産するだけでなく、放流しようとする場所の水温・水質などの環境、食餌の豊度、害敵の種類・量・対策を知るとと

もに、これらの条件を人工的に造成した海域を設けることも必要でしょう。つまり、調査研究の成果と併行して事業化が進められねばならないということです。

瀬戸内海を一円とした海域では、瀬戸内海栽培漁業協会がクルマエビ・マダイなどを行なっています。その状況をみますと、クルマエビについては、種苗生産技術や放流技術については度重なる実験が繰り返され、現在では億単位の種苗生産が可能になっています。海域に適合した放流技術が開発され、放流種苗

日本海で栽培漁業を

日本海はご存知のように、対馬・津軽・宗谷・間宮の狭い四つの海峡で他の海に通じている、囲まれた海域です。栽培漁業をとりいれて水産資源を増大し、他の諸施策とあわせて沿岸漁業経営の安定向上をはかるのに適した海域です。

このことから、日本海関係一・二府県で栽培漁業を事業化しようと協議決定されて、日本海栽培漁業事業化推進準備会が昭和四十四年

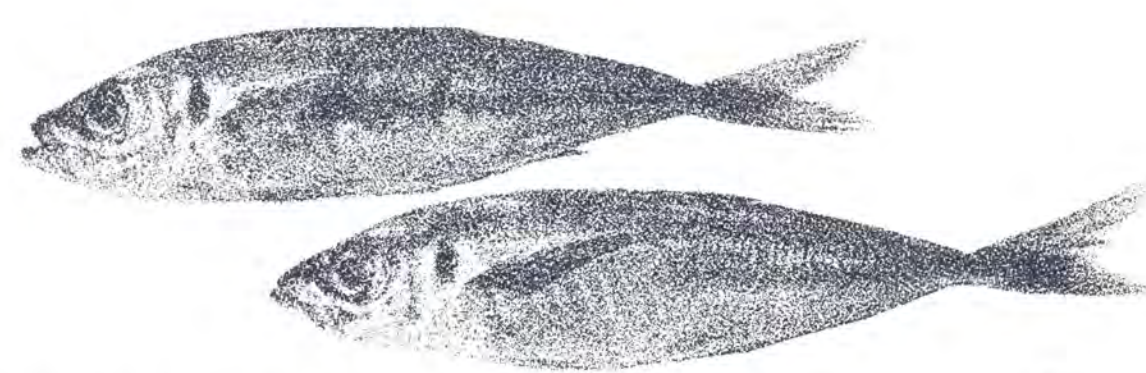
を目的とした公共事業であり、個人の営利を目的とした養殖業とことなるわけです。

見通しが得られていません。しかし、クルマエビについては、数度の調査試験などの結果、放流効果が認識されるようになり、県下沿岸に広く行なわれています。県でも補助金を出してあります。

の五〇％近くを商品価値のある大きさにして漁獲できる見通しがたち、きわめて効率的な事業となりつつあることが報道されています。また、マダイについても、その種苗生産数は幾多の実験を経て現在は、百万単位に近い数が可能となり、事業化に要する数の生産も近いとされています。その稚魚の自然界における生態についても、各種の調査が行なわれ、しだいに実態が明らかになりつつあります。その他、カレイなど数々の魚類についても、各面の研究が進んでいるということです。

設置数・設置条件などの調査を昭和四十七年度に行なうことが予定されています。

このような情勢から、日本海を対象とした栽培漁業の実現がしだいに近づいています。地方での栽培漁業の事業化は、もちろん地域特性に応じて行なわれるはずですが、富山湾でも、重要魚介類資源が増加し、漁業経営の安定・需給の安定に貢献しうるものと期待され、その実現が待たれているわけですが。





世界からボニー

第13回ボーイスカウト世界ジャンボリー
(静岡県富士宮市朝霧高原から)



世界の少年たちが、東から西から、海をこえ山をこえて、富士の裾野に集まりました。一九七一年八月二日、静岡県富士宮市朝霧高原。日本ではじめてのボーイスカウト世界ジャンボリーが開かれたのです。一九二〇年、ロンドンでの第一回からかぞえて十三回目、四年に一度のスカウトの祭典です。

世界九十余カ国より約二万人のスカウトが参加しました。国境を越え、人種・宗教の差別もなく、大自然のなかにうちとけあって、「相互理解」の大テーマのもとに結集したのです。参加規模は、東京オリンピックの参加選手五千五百人や、ユニバシアード千二百人をはるかに上回る人員であり、それだけに国際行事としての意義は深いものがありました。本県からも松原喜一県コミッショナーをはじめとする奉仕隊と参加スカウトあわせて二百名が、暗れの舞台に出ました。

国をあげての歓迎と支援で、外国スカウトはもちろん、国内参加スカウトともども、深い感銘を味わいました。とくに、この期間中思わぬ台風の影響で、暴風あり豪雨あり、かと思えば猛暑ありと、実にきびしい天候の変化に会いましたが、そうした中でいっそうその目的が遂行されたといえましょう。

八月三日のワイドゲーム。四日の「日本の夕」における鞍馬の火祭り、歌舞伎・能など日本芸能の披露。五日には皇太子殿下ご臨席

のもと、世界各国のお国自慢を発表しあったビッグパレード。八日の友情交歓会。スキル・オ・ラマなど。教育文化、スポーツを通じて、単に一人のスカウトの国際交流と視野の拡大向上に役立っただけでなく、団体としての活動をより活発に充実させるという、二重の効果を生みだしたようです。

アメリカやイギリスでは、スカウト運動が広く市民生活のなかに根をおろし、すべての少年たちがスカウト運動に徹しています。国や地方教育当局も、教育体系のなかで学校教育と並ぶ活動として重要な位置づけをしています。わが国でも、近年スカウト運動が重視されてきたとはいえ、その普及率は、他国に比べてまだまだ低調です。このことは、わが国では学校教育が充実整備されているため、青少年の教育といえはすべて学校教育に依存する傾向が強いからでしょう。学校外教育における青少年活動が軽視されているともいえます。青少年が次代をになう後継者として尊重され、豊かな市民性を身につけ、社会奉仕と社会連帯の精神を忘れず、学校教育で行き届かない個性的教育を、自然のなかで育んでいくことは今日の急務です。少年の夢と希望を満たした世界ジャンボリーを機に、一人でも多くの青少年がこうした活動に参加されることを期待しています。



黒部の 顔

二十一年昔しか知らぬ山に、私は、黒部と
いえば、うすき月かり、生命は保障
しなむという恐れ、あつな、そわそわ
ちよと、フーモラスなトロッコに乗る
父母谷まで行く道のりと、自然の
美しさか、自由にふぶのりすか、とんち
ふんち、愛するいるひせうか。

左 幸子

「黒部峡谷はアルプスのいかに美しい谷にも
優る」と、日本アルプスの名付け親ウエスト
ンをして感嘆せしめた紅葉の峡谷を軌道はゆ
く。かつては無蓋車で、命を保証しないと断
わりがしてあつた電車が、赤くはなやかに装
つて、人々を名勝と温泉に運びゆくのです。

左 幸子

昭和五年、入善町泊で生まれる。県立泊高校卒
東京女子体育専門大学卒。羽仁プロ所属。
ブルーリボン、ベルリン国際主演女優賞など数々
の賞を受けた。
家庭を守りながら自分の才能を生かす富山女性
の典型として、映画づくりや著書執筆にも意欲を
燃やす。
夫君羽仁進との共著には「アンデス旅行」「
歳の記事」などがある。



寄生虫

寄生虫予防について

毎年十一月二十一日から三十一日まで、寄生虫予防運動が旬間行事として、全国的に展開されます。

戦後の寄生虫のまん延は、野に山に町にみちみちて非常な勢力を示したものです。この時の寄生虫保卵率は、全国で六五％、本県で七〇％と高く、予防対策も県による単独事業や国の委託事業として実施され、鉤虫対策、日本住血吸虫対策、肝吸虫対策とにぎやかなものでした。

最近では、農作物に使用する肥料が人糞尿から化学肥料に変わり、また農作業に従事する人も、素足からゴム靴をはくなど、防虫措置がとられ、農業水路の改善、生産物の衛生的処理、生活環境の浄化、医療技術の進展などが理由となって、大幅な減少を示したことは最近の保卵率、全国六・三％、本県六・一％の示すとおりです。

があります。べん虫※1・蟻虫※2などや、アニサキスのように魚介類を媒介して入り込むものがそうです。これらは、貧血症、胃腸障害、栄養不良、安眠の妨害などをもち、致命率こそ低いが、労働力の低下、人命を危険にさらすような事件を引き起すものになりうるのです。

寄生虫が社会集団や個人に及ぼす影響は、生活の基盤をゆるがすような大きいものです。今後とも予防対策を強力に進める必要があります。本県の寄生虫検査機関は、十カ所の保健所を中心に、富山県寄生虫予防協会会員の検査所が八カ所あり、いつでも集団検査や個別検査を実施しています。県内の検査率は、小学生・中学生は非常に高いのですが、一般は低く、この旬間中にぜひ家族ぐるみの検査をうけていただき、一人でも家庭内に保卵者のいないよう確かめてもらいたいものです。

※1べんちゅうー袋形動物(線虫類の一種)ヒトの盲腸などに寄生し、長さ三・五cm、からだの前方がぐらぐらいが糸状で細い。日本では全国的に分布する。卵は糞便とともに人体外に出、外界で卵内に子虫が発育し、ほこりや野菜などとともに口からはいつてくる。ヒト以外にウシ・ウマ・イヌ・ネズミなどに寄生するものもある。

※2ぎょうちゅうー袋形動物(線虫類)寄生虫の一種で、めすは約一〇mm、おすは三・五mmぐらい。白色で細長い紡錘形をし、おすの尾は巻いている。ヒトの大腸・盲腸・直腸などに寄生するが、とくに子どもに多く、夜間、こう門の周囲に産卵するので激しいかゆみを起こし、睡眠が妨げられる。また、幼児では消化不良や神経症を伴うことも多い。サントニンで駆虫し、かん腸などを行なうとともに、こう門周囲を清潔に保つことがたいせつである。

財政状況について

景気の停滞、不況は県の財政に対しても大きく影響しています。歳入の中心をなす県税収入の伸びが、前年度に比べ極めて低調となっています。九月末現在の県税の収入状況は、前年同期に対し一三・一％増となっていますが、これは前年度同期の増加率二七・三％にくらべ大幅な減少となっています。とくに、本県の税収のうち約半分を占めている法人関係税の伸びは、九月末で五・四％と、不況を大きく反映しています。

まず景気刺激策として、国と協力して公共事業の規模を積極的に拡大していく一方、その執行の促進にも努めています。そのほか、県単独の道路改良・舗装費も追加して充実を図っています。

また、九月議会において、社会福祉・公害・交通安全対策などを中心として、前期公共事業費を含めて総額六五億一、九七五万円の予算補正を行ない、積極的に努力しています。

これらの積極的施策の財源は、特別事業債の発行、物件費を中心とした事務的経費の節約、財政調整基金の一部とりくずしなどによって調達し、健全財政の維持に努めます。



県政のうごき

9月11日→10月10日

九月一日 才月定例議会招集

九月定例議会は、一日招集され、午前一時一五分から本会議を開き、会期を二日までの一日日間と決めたあと、一般会計補正予算など三四案件が一括提案され、中田知事が提案理由を説明した。

九月一日 知事、老人ホーム慰問

中田知事は敬老の日にあたって流杉老人ホームを慰問し、「気楽にくらし長生きしてください。県も老人福祉にさらに力を入れてゆきます」とあいさつした。

九月一日 児童クラブ大会

県下の児童クラブ員の相互交流の場である児童クラブの大会は、およそ二、〇〇〇名の児童たちが参加して開かれた。市内を行進し、知事の観閲をうけたあと、富山市公会堂において式典が催された。

九月一日 老人福祉図画表彰式

九月一日の敬老の日から一九日まで大和デパートで展示されていた、老人福祉の図画コンクールの入選作品の表彰式が富山県社会福祉会館で行なわれた。

九月二日 加越線現地視察

中田知事は、いま問題になっている加越線の代替バス道路を現地に視察した。途中、車から何度も降りて歩き、くわしく道路事情を視察、今後の問題解決に理解を深めた。

九月二日 青年の船、乗組員結団式

青年の船出航の前に、堀美智子団長・団員九〇名の結団式が県庁で行なわれた。中田知事は「これからの歴史をつくるのはみなさんである。県を代表する若者として、立派に任務を果たしてきてほしい」と激励。団旗を堀団長に手わたした。

十月一日 空から赤い羽根

「豊かな心をつなごう」をスローガンに一月一日から二五回目の共同募金がはじまる。これは中央募金共同会が毎年「赤い羽根の第一便」と名づけ、札幌から沖繩までの知事らに赤い羽根を厚生大臣のメッセージをつけて運ぶもので、県の厚生部長に手わたされた。

十月五日 交通安全県民会議

第八回交通安全県民会議は、富山県民会館で開かれ、交通安全に対する県民代表の決意

十月六日 県政公聴会

表明や、安全功労者三百五十五人、同二十三団体の表彰、新しくつくられた「交通巡視員の歌」の披露のあと、「正しい歩行、横断を励行します」など、五項目の決議を採決した。

十月六日 県政公聴会

県民と県政を結ぶ公聴会は、宇奈月町福祉センターで開かれ、約百人の住民が出席、同町が当面する富山地方鉄道無人駅廃止計画、黒部川流砂被害など、多くの問題について質疑がかわされた。

十月七日 文化財を守ろう

「文化財を守り、正しく学ぼう」をテーマに文化庁主催で「四十六年度の文化財愛護活動全国研究集会」が、七日・八日高岡市あわら町の高岡市農協会館で開かれた。

十月八日 青年の船、無事に帰る

青年の船団一行は、午後四時五十四分富山着の特急で全員無事に帰郷した。駅頭には韓国まで同行した知事をはじめ、関係者や団員の家族ら二百人が出迎えた。解団式のあと、団員たちは別れを惜しみながら家族らと家路についた。



児童クラブ大会



空から赤い羽根



交通安全県民会議



青年の船無事帰る



酒

(県史編さん室主査)

漆間元三

富山県下の清酒の飲料は、女子も含めて一人当たり二六・一觔(四十五年度)で、北陸三県では一位、全国でも有数の酒豪県です。まさに酔っ払い天国。もともと大衆酒場のれんは、正午すぎればもうかかっています。駅前あたりでは、昼間から飲んでいる客人もよくみうけます。

「初対面のお近づきに」などというのは飲み、「ひさしぶりだ」といっては酒を飲みたがるのです。宴席に運参した者には「かけつけ三杯」とか「両手にハナ」などといって、左右から杯がさされるのが酒席のつねです。招待した側でも、客に酒を無理に強いて、その客が酔ってあはれたりすると、ニコニコして目的を達したような顔をします。

今日の酒ほど乱用されている飲料はないでしょう。昔は年に幾日という、限られた日だけが酒を飲むべきでした。そのかわり、飲めるのです。宴席に運参した者には「かけつけ三杯」とか「両手にハナ」などといって、左右から杯がさされるのが酒席のつねです。招待した側でも、客に酒を無理に強いて、その客が酔ってあはれたりすると、ニコニコして目的を達したような顔をします。

めば
徹底
して飲
み、これ
に酔いまし
た。むしろ酔
うところに酒
の効用を求めた
のです。石田外茂
一氏は五箇山民俗
覽書の中で、「五箇
山では、ほこるに
足る嫁入り支度の
できる家では、
朝に嫁入りする。
行列にまじって
いる荷かつぎ
の人は、出
発前から祝酒でふらふらになって荷を
かつぐ。ものの二十歩もあるかないうちに、
荷をおろして休憩と、世話人がかけつけて酒
を飲ませる。こうした緩慢な行列のつづく限
り、世話人は荷かつぎ人夫への接待でいそが
しい」と記しています。この一つもってし



ても、県人の酒に対する心意現象の一面を覗いたように思います。

現代の青年たちは「酒を飲まぬと商談がまとまらないとか、結婚式に酒がなくては、という考え方はもう古い。酒の力をかりて雰囲気盛り上げたりするのは愚の骨頂だ。これからの若い世代は、カラッとした人間関係をつくりだすのだ」といって、酒の宴席を否定しています。実はこの人々も、商談の場を酒席から喫茶店にかえただけで、依然としてカラッとした関係ではないことに気づいていないようです。

酒を飲むことは、酔いを求めることにはちがいがありませんが、同時に一つ火で調理したものを互いにわかち合うことによって、一つの心になり、互いの力になれることに意味があります。いままも酒宴の席では独酌をきらうのは、やはり酒は一人で飲んだものではなく集まって飲んだ心のなごりです。これが酒盛りだったのです。古事記に「アナオモシロ」という言葉があるが、これも一つカメの酒に酔って、一つ心になった状態のよるこびあつた言葉です。

「酒は飲んで呑まれるな」ということをよく耳にします。これから寒さに向う折でもあって、酒をしたしむ候です。もう一度、酒の功罪を考えてみる必要があるようです。

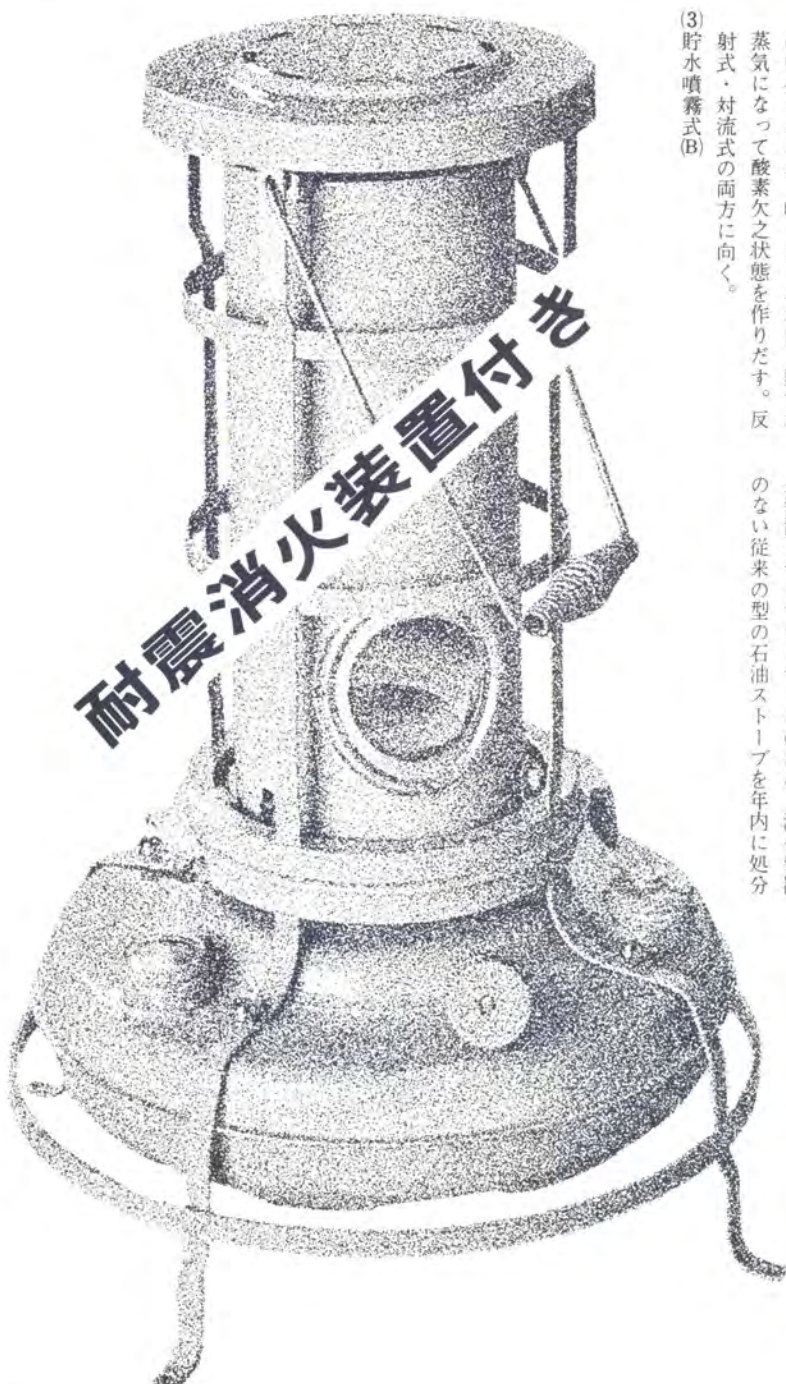
暮しの知恵

新しい石油ストーブ

グラグラッと地震がきたら、すぐ火が消えるという安全な石油ストーブが開発されました。東京消防庁が関東地方の大地震にそなえて、メーカー側に要請した結果できたものです。この冬からは耐震消火装置付きの石油ストーブが新製品として売り出されます。

このストーブは、これまでの倒れたら消えるという消火装置より進んで、振動しただけで消えるものです。

- (耐震消火装置付き石油ストーブの性能基準)
- (1) 構造と取り扱いが簡単である。
- (2) 震度四以上(歩いてる人が感ずる程度)の震動で作動し、単純な持ち運び程度の震動では作動しない。
- (3) 発震後十秒以内で完全に消火する。



- (4) 特殊な装置でシンをぬらすことなく、消火後には再点火できる。
- (5) 維持費が安い。
- (消火装置の種類)
- (1) シャッター式
パネの力で消火ボタンが燃えている部分をふさいでしまい、燃焼に必要な空気をしや断する。反射式ストーブ向き。
- (2) 貯水噴霧式(A)
震動で貯水タンクの上のおもりが落ち、タンク内の弁を下げて水を押し出す。燃焼筒の中央ノズルから吹きだした水は、熱で水蒸気になって酸素欠乏状態を作りだす。反射式・対流式の両方に向く。
- (3) 貯水噴霧式(B)

不燃ガス入りボンベのノズルの上においてあるおもりがはずれ、ノズルからガスが吹き出し、その圧力でタンクの水も押し出され水蒸気となる。反射式・対流式の両方に向く。

(4) 帽子式
おわん型のふたで燃焼筒を上からすっぽりつつみ、空気をしや断する。対流式に向く

来春三月、JIS規格が改正され、耐震消火装置の取り付けが義務づけられる見込みなので、各社とも新製品には、ほとんどこの消火装置をつけています。このため、消火装置のない従来の型の石油ストーブを年内に処分

しようと、安く売られることが予想されます。

この新しい石油ストーブは、地震だけでなく、あやまって人がぶつかったり、ひっくり返してもすぐ火が消えるので安心です。各家庭の状況に応じて、新製品と従来品とを使い分けるとよいでしょう。

また、手持ちのストーブに消火装置を付ける場合は、一、五〇〇円から二、〇〇〇円程度で部品を購入できますが、機種によって取り付け可能なものと、そうでないものがあります。

点滴

秋も深く、咲き誇る菊を眺めず時、私の心に新しく追悼式の思い出が甦ってまいります。さる八月十五日、第九回全国戦没者追悼式に参列させていただき、静かに追想いたしました。天皇・皇后陛下のご臨席を仰ぎ、天皇陛下よりお言葉をお賜りました時は誰一人涙せぬ者はありませんでした。戦後二十六年、世の中は全く変り、日本の再建進歩は実に目覚ましいものがありますが、平和日本の礎となつて散華された英霊の心を、またこれらの繁栄の陰に歯をくいしばって頑張つた人たちの並々ならぬ努力を、決して忘れてはなりません。一生に二度とは相見えぬこの意義深い追悼式において、さらに県代表として献花をさせていた

追悼式に よせて

東砺波郡福野町
佐々木華子

だいたこの筆に表わしがたい喜びは、私の終世忘れることのできないものでございませう。

最近、学生の暴動やその他の様々な目に余る出来事が、社会の秩序を乱していることは実になげかわしい限りでございますが、遺族代表者の中に立派に成長された遺児の姿を多数見受けまして、非常に嬉しく思いました。身はいかにもなるともいふさどめけり

ただたふれゆく民をおもひて終戦当時の御製を拝し、ただ一途に国民の心がたさば身に徹しております。もつたないなくもわが国土は守られ、今もなお変ることなく、四季それぞれ姿をとどめております。

今年もみよりの秋を迎えましたが、ひたすら祖国の独立と栄光のために、身をもつてつくされた方々に対し、厳肅な心でその道徳的意味を考えねばなりません。人はみな、逆境におかれた時、はじめて恵まれていたことに気付くもので、いかなる境遇にも喜べる人こそ、逆境にあつても恵まれる自分を見出すことができましよう。世界のすべての人々の平和と幸福を心から願うのであります。

老後福祉に対する提言

立山町新瀬戸和寿会 会長 森 六郎



十月三日、校下住民体育大会が秋晴れのよい天気にも恵まれ、校庭で実施されました。例年の通り、先に実行計画委員会が開かれたのですが、私も老人クラブを代表して出席。本年度は二種目（孫のお土産拾い、スプリンレ

一、スの参加を希望しました。保育園・小学校・中高生・一般男女と共に年寄も参加したわけでは、私はそこに年寄の体育自覚もさりながら、全住民と一つになつてかもし出す、社会の美しい像をうれしく思うのであります。

体育といえ、老後の健康管理が強く叫ばれ、立山町でも福祉法に基づいて毎年健康診断が小学校で行なわれます。ただし、卒直にいつ受診率が低い。この年になつて医療の世話までかけるのは苦しいといつた心持が、従来どおり深いわけですが、これは何といつても頭の改造が必要であり、また家族に対しても町当局（社会）にも大いに理解していただきたいことの一つです。幸い立山町では、本年十月から七五才以上の老人に対し医療費十割支給が実施されました。政府においても明年度の老人福祉対策の一環として、この医療費については七〇才以上自己負担解消の立場をとつておられるとのこと、誠にありがたいことですが、私の考えでは、六五才以上との要望もあるが、まず七〇才以上が妥当でないかと思ひます。欲を申せば、将来交通費についても考えていただきたいものです。

私は毎年、敬老の日を記念して、和寿会報を印刷して、校下有志の激励の挨拶、会の行事、会務会計、老後生活への社会の耳よりな記事、会員の動静（新会員の紹介・逝去会員の追憶など）を載せて、老後の反省・希望・クラブの団結などに資して、老後の校下では、老人会の発展のため、校下全戸から毎年助成金を各部落区長を通じていただいておりますので、会報は全戸（二四〇世帯）に読んでいただけ、大へん喜ばれております。本年の会報には、私達の信条として次のような記事のせました。

一、健康の増進
二、教養への熱心
三、死後まで勉強、法語も聞いて
四、楽しい老後に、話しあつて
五、社会（家庭）への奉仕

愛せられる老人になつて。奉仕活動の一つとして、毎年保育園・小学校の校庭除草清掃を実施し、昨年はクラブ創立十周年の記念式もあけ、記念事業として、保育園児がお行儀よくすこやかに成長することを祈念して、教室に大鏡を贈呈しました（会員の志を基金して）。時代は核家族化とか、一家にしても断絶の多くなつた家族生活とかいわれます。何とかして正しい風潮を醸成することが今日の課題であると信ずる一人です。人生は奉仕なりの心境に近ずき、愛せられる老人のことを話し合つていきたいと思います。

さて、豊かな老後生活といつても大小の問題がこみあつています。経済的立場（？）から、福祉年金の増額も月五千円とか、年齢低下のこと、制限事項の廃止など、西欧的な考えや要求が強く叫ばれております。私は精神的な立場から、何とか日本在来の祖先崇拜・家族協同の美点と、今日の民主主義的な個人の尊重・人間性解放の理念から、直接には民法を改正し、大きくは憲法の条項も研究善処して全国民（若いも若きも男も女も）の将来に大きな期待をもちたいものです。明治時代に生きた老人よ奮起せよ、といつた大きなことばどうかと考えますが、これも国民の一人としての責任でしょう。その老人扶養精神の進展の一助として、税制を改正し、扶養世帯に優遇措置を講ずる案が、目下厚生省の老齢者対策プロジェクトチームで研究され、近く実現するとのこと、喜ばしい次第であります。早くいささか話が遅いからいがあります。早くお願いするものです。

私の地方は農業地帯なので、十月いっぱいまで農業も大体かたずきます。毎年十一月月上旬クラブの慰安研修旅行を実施しているのですが、クラブ員はみな楽しみにその日を待っています。ただしクラブには何といつても、身体の不自由な方もあり、私たちはそうした方々へも手をさしのべてあげたいと思ひます。老人クラブへの助成金がもっとも増額されるように望む次第です。以上実施の一端に即して所感を述べました。



ご質問に ？ お答えします

料理飲食等消費税の改正

問 料理飲食等消費税がこの十月一日から改正され、免税点や旅館の基礎控除の引き上げが行なわれたと聞いておりますが、その内容をお知らせください。

答 みなさんがご家族連れで旅行されて旅館に泊つたり、料理店や旅館などでお客さんを招待したり、懇談会を開いたりなさるときに課せられる一種の消費税のことです。これは、料理店・貸席・バー・キャバレー・飲食店・旅館などで、飲食・宿泊・休憩・遊興などをされたとき、その料金に対して一〇パーの税が課せられています。料金の中には、飲食料金のほか、芸者・遊芸人らを招いた花代、仲居・女中・女給たちに支払つたサービス料など、客が支払つたものはすべて含まれています。しかし、客が任意に渡したものは除かれます。電話代・自動車代・クリーニング代・あんま代・たばこ代、結婚披露宴の費用のうちで神官や牧師に支払う挙式代・美容料金・写真代などは、立替金とみなされ、課税の対象にはなりません。

飲食をなさる場所や支払う料金によってはこの料理飲食等消費税がかからない場合があります。免税点が適用される場合で、その内容は表のとおりです。

この消費税は、その店の経営者が県に代つて、各料金といっしょに税金を受け取ることになつております。店の経営者はこれを一月月ごとにまとめて県に納めます。ですから、店の経営者は、県でつきた公給領収証を必ず

区 分	免税点の適用範囲		摘 要
	改正前	改正後	
飲食店、喫茶店等における利用行為	1人1回の料金が800円以下	1人1回の料金が900円以下	ただし遊興を伴う飲食、およびその他の利用行為を除きます
チケッ食堂における飲食	1品の価格が400円以下	1品の価格が450円以下	知事が指定した食堂に限りま
旅館における宿泊およびこれにともなう飲食	1人1泊1,600円以下	1人1泊1,800円以下	1泊2食までの料金です
旅館(割烹旅館を除く)における宿泊者の夜食間食、昼食および宿泊者以外の者の利用行為	1人1回の料金が800円以下	1人1回の料金が900円以下	ただし遊興を伴う飲食のおよびその他の利用行為を除きます
料理店、飲食店、仕出屋、旅館等が一般家庭工場、会社等へ飲食物の仕出しや出前をしたとき	飲食物1人分の料金が800円以下	飲食物1人分の料金が900円以下	免税点をこえる場合は、仕出した料金を納税し、特別税率が引かれます。特別税率が引かれない場合は、通常の税率が適用されます。

区 分	改正前	改正後	摘 要
旅館における宿泊に対する基礎控除	800円	1,000円	1人1泊につき



客に渡すよう定められています。これには客の支払つた料金の内訳と、いくら税金を納めたかがはつきりとわかるようになっております。もちろん控が残っていますから、税金が確かに県に納まつたかどうかを調べることで、利用の際に必ず受け取るようにしてください。



2. 実際に病害虫を果肉の中へ入らせ、己の敵を知る。

4. 土壌、養分溶脱の研究も重要な仕事。

3. 果肉の硬さ、糖分、酸度などをはかり、味の良いものをつくるための努力。



たわわな実りを..

富山県農業試験場・魚津果樹分場

秋は果物の季節。生活が豊かになり、個人の嗜好が変ってきて、品質がよくバラエティに富んだものが要求される。そういった変化に対するため、リンゴでは日本の最高の味と自慢する「ふじ」、ナシでは「718」という新品種などがここで生まれている。当然、反当りの収穫量の増加と省力化についても、果樹の品質改良と同時に解決されつつある。

1年毎にしか結果がでてこない作業、病害虫の防除やライシメーターによる肥料の効率測定など、コツコツと私たちのためにつづけている。

1. 横にひろがる枝をタテにのぼし、反当りの収穫をふやす、果樹の改良。

レクリエーション ポイント



●不忌山上行寺 高山重忠の菩提寺といわれ、忠が犀の生きた角で作ったと伝える三層妙王と称する神体のほか、馬具・雨ごいの仏などがある。近くの椴原地内割山へ通ずる道に、重忠の墓と伝えるものがある。

●猪谷関跡……高山藩時代の関所のあったところで、旧飛騨街道をはさんで猪谷部落より南方峠道へ登ろうとする起点にある。明治二年に廃関になったが、建物の礎石が残り、当時の面影をしのぶことができる。



●神通峡……岐阜県の位山から発する神通川が北流して、飛騨盆地から越中平野に出る高原川の合流点から、下流笹津に至る間、激流をかみ、所々瀑布をかけ、盛夏や紅葉の秋は特に佳趣がある。

●猪谷の背……向斜……釣橋を渡って対岸へ出て、左岸をみると、付近一帯が波浪のようになっている。

その峰になったところを背斜といひ、谷にあたることを向斜……造山運動の一つの構造を示している。中生代の砂岩・頁岩の互層が地殻の変動によって褶曲したもので、国の天然記念物に指定されている。

県政広報お知らせ

●テレビ：みんなの県政
県政の広報事項を、対談やフィルム構成で放送します。
北日本放送（七時四十五分～八時）
十一月七日・十四日・二十一日・二十八日
富山テレビ（十一時三十分～十一時四十五分）
十一月二十七日

●新聞：みんなの県政
北日本・富山・読売・北陸中日新聞に、毎月一回県政の解説やお知らせなどを掲載しています。十月三十日の予定です。

●広報誌：みんなの県政配布
県民のみなさんとのパイプ役として、県政のうごきを中心に載せた雑誌です。市町村・病院・銀行の待合室・学校・農協などへお届けしていますので、お読みください。
また、県庁、富山、高岡、砺波・魚津の各総合庁舎の県民相談室窓口にも備えてありますから、ご自由にお持ち帰りください。

越中の伝説 祈り田

むかし、むかし。八尾町の卯花地区に上黒瀬という村がありました。元禄十年の「郷村高辻帳」に

「コノ村ハ掛畑村ノ出村デ、親村ヨリ六丁バカリ南ニアリ、百二十六石五斗ノ草高ヲモツ」などと書かれていますから、ずいぶん古い歴史をもっているのでしょう。

この上黒瀬村を初めて開いたのは、孫兵衛という人で、草高七十石の分限者。附近一帯第一番の高持ちとして、たいそうな勢いであつたということです。なにしろ村人さえも恐れて近づかなかつたというくらいですから、大いばりで暮らしていたのには違ひありません。

この村の東には、久婦須川という美しい流れがありました。そして、この川の川向いが本法寺とマンガラで名高い宮腰村であります。この村にも、草高五十六石といわれた忠右衛門という人がありました。この人は孫兵衛とは反対にやさしい人で、頭も低かつたので、村の人びとから親のようにしたわられていました。

ある年のこと。忠右衛門は荒地のままに残されていた村の平坦地を開いて、水田を造ろうと思ひました。村びとたちも大賛成で、みんな喜んで仕事の手助けを申し出ました。さて、水田を開くには何よりも水がなくてはなりませんので、あちこち探しまわろうと村の南にあつた崖の上部からきれいな清水がコンコンと湧きでているのが見つかりました。さつそく、忠右衛門は殿様の許しを得て、用水を引く工事を始めました。

もし、これが成功すれば、忠右衛門の持高はたちまち二倍以上に増えることになりました。近くの村から遠くの村へと、この話が伝わりますと、人びとは

「小気味のよいことじゃ」と、うわさし合ひ、中には「ざまあ見ろ」といわんばかりに、孫兵衛のことをののしる人もでてきました。夜も眠れぬくらい腹を立てました。

そして、ある日の真夜中のことでした。上黒瀬村の南にあつた一枚の小さな田へ、人目をしのんでやってきた岩壁の上に造ら

腰村の崖の清水とは川をはさんで向ひ合つていました。

孫兵衛はこの田にムシロを敷き、シメ縄を張つて、恐ろしい姿で夜毎に鬼神を招いて祈りを捧げたのです。やがて二十一日の祈願がすみ、満願の翌朝、孫兵衛は血走つた眼で、はつたとばかり、川向いの清水を見おろしました。するとどうでしょう。不思議なことに清水は一丈あまりも下降していたのです。このため忠右衛門の計画は全く不可能になつてしまいました。あまりのことに、村びとたちは恐れおののいて、だれいふこともなくこの田を呼んで「祈り田」といひ伝えてきています。

孫兵衛は長く近郷第一の高持として威張つておられるものと安心していましたが、やはり憎しみの心を起こしたことが禍いとなつたの



でありましょう。まもなく不幸が重なつて数年をまたずにおちぶれ、村から逃げだしていったといひます。

孫兵衛が村を出る時、いつかはきつと帰つてみせるぞと心に誓つて、先祖伝来の黄金仏を大きなケヤキの三つ股枝にかくしていきました。不思議なことに、一夜にしてこの仏像は三本の枝にみるみるつ

つまれて、取ることができなくなつたといひます。それより村の人びとは、その大ケヤキを神木とあがめて、現在に至つています。

上黒瀬八幡宮にある。富山県天然記念物「上黒瀬の大榎」がこれであります。

県教委精神開発研究委員
成瀬昌示

“こどもを交通事故から守ろう”



こどもは
すくすくと
育てほしいもの